

第1会場（長野）

合同企画 2

9:10～10:40

認知症

座長：西村勝治（医療法人寛裕会 浜野ホスピタル）

内田明子（医療法人社団クレド さとうクリニック）

演者：認知症を「症候群」として捉え直す：腎不全医療における鑑別診断と多職種アセスメントの重要性

大武陽一（たけお内科クリニック からだと心の診療所/西淀病院）

高齢腎不全患者の意思決定プロセスにおける心理的アセスメントと支援の可能性

小林清香（埼玉医科大学総合医療センター）

認知症が腎不全患者の療養環境に与える影響

三宅よしえ（（医）清梁会 高梁中央病院 血液透析センター）

高齢透析患者の支援

～その人らしい生活をしながら通院透析を1日でも長く継続するために～

青木栄子（医療法人社団駿心会 いなげ腎クリニック）

共催：日本腎不全看護学会

【企画のねらい】

本企画は、透析患者や腎移植患者における認知症の実態と特徴を共有し、精神心理面と看護実践の両側面から理解を深めることを目的とする。認知機能低下が治療選択、治療継続、療養生活および家族ケアに及ぼす影響を明らかにし、多職種連携による支援の方向性を検討することで、患者と家族の尊厳と生活の質を最大限に尊重したケアのあり方を探る。

シンポジウム 4

10:50～12:20

CKM（事例報告）

座長：政金生人（医療法人社団清永会 矢吹病院 腎臓内科）

岡山ミサ子（オフィスJOC）

演者：医学的に適切な自己意志決定困難患者2例における保存的腎臓療法選択にまつわる諸問題

森田泰正（千葉市立海浜病院 救急科・集中治療科/地域医療機能推進機構 千葉病院 血液透析科）

人生の最期を在宅で迎えるということ～cureの限界で問われるbeingの覚悟

轡田啓子（医）オー・ド・ヴィー こひらメディカルクリニック）

福生病院療法選択外来にて一貫して腎代替療法を選択されない意思表示をされ、尿毒症にて死亡された一例

中林 巖（公立福生病院 腎臓病総合医療センター）

高齢透析患者の意思決定を促すナラティブアプローチについて ～VA 不全から CKM に移行したプロセスを考える～

来城 順子（上尾中央医科グループ 医療法人協友会 笛吹中央病院 看護部）

血液透析から段階的に透析量を削減して看取りを行った進行癌合併の 60 代男性

大武 陽一（たけお内科クリニック からだと心の診療所）

【企画のねらい】

保存的腎臓療法（CKM）は腎代替療法を行わない選択肢の一つとして、近年非常に注目されている。CKM において、意思決定で悩ましい事例や緩和ケア（特に精神的ケア）の関わりが難しいことも経験する。今回は保存期 CKD・血液透析各々から CKM を行った事例をご報告頂き、CKM におけるサイコネフロロジーの役割について考える機会を提供したい。

ランチョンセミナー 3

12:30～13:30

人工血管内シャントの理解を深める～作製・管理・修復～

座長：佐藤 純彦（医療法人社団クレド さとうクリニック）

演者：患者さんの心に寄り添う AVG 作製

中村 順一（天満中村クリニック）

AVG トラブルに対する修復戦略～再介入を減らし、患者 QOL を支える VAIVT～

矢野 卓郎（吉祥寺あさひ病院）

共催：日本ゴア合同会社

春木記念賞受賞記念講演

14:10～14:30

座長：伊藤 孝史（帝京大学ちば総合医療センター 第三内科学講座（腎臓内科））

演者：透析施設は社会を診ている

船越 哲（医療法人衆和会 長崎腎病院 理事長）

シンポジウム 5

14:30～15:30

SDM

座長：櫻田 勉（聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科）

不動 寺美紀（日本赤十字社 福岡赤十字病院 看護部）

演者：当院の腎代替療法選択支援の軌跡と課題

今福 美紀枝（東京大学医学部附属病院 看護部）

多職種で行う腎代替療法説明外来～当院の SDM の実際～

東山 恵（聖マリアンナ医科大学病院 看護部）

腎代替療法の療法選択説明における公認心理師介入の取り組み

鳥海 結（済生会横浜市東部病院 こころのケアセンター 心理室/同 腎臓内科/同 精神科）

【企画のねらい】

本セッションの企画のねらいは、様々な施設における腎代替療法時の Shared Decision Making (SDM) を学び、自施設の診療に活かすことにある。どのように患者の価値観や感情、家族関係、医療者の葛藤に光を当て、サイコネフロロジーの視点から SDM を深化させているのかを共有することは極めて有用である。

次期大会長講演

15 : 30 ~ 15 : 50

座長：佐藤純彦（医療法人社団クレド さとうクリニック）

演者：最古の都でサイコを語ろう

米田龍生（奈良県立医科大学 泌尿器科・透析部）

第2会場 (桜)

ワークショップ 診療ガイド委員会企画

9:10～10:40

よくわかる！透析施設でできる「せん妄」の初期対応

座長：大内雄太（青空クリニック 精神科）

桂川修一（東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック）

演者：透析患者のせん妄の特徴と初期対応

志賀浪貴文（埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック）

両下肢切断術後に薬剤性せん妄をきたした血液透析患者への関り

前川早智子（日本赤十字社医療センター 看護部）

血液透析中に不穏・せん妄状態となった認知症患者への対応

小貫亜希子（医療法人埼玉会 埼玉草加病院）

ファシリテーター：藤田 譲（白鷺病院 医療福祉科）

鈴鹿ゆかり（医療法人社団善仁会 教育・研究支援部）

花井弥穂（社会医療法人名古屋記念財団 東海クリニック）

竹内 崇（東京科学大学病院 精神科）

コメンテーター：志賀浪貴文（埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック）

水内恵子（兵庫大学 看護学部 看護学科）

【企画のねらい】

「せん妄」は透析施設でもよくある精神疾患のひとつです。しかし透析施設には専門職不在のことが多く、診断はおろか、どこまで初期対応をしてよいか迷うことがよくあります。この企画では「サイコネフロロジー診療ガイド」を使い、講義やグループディスカッションを通して、透析施設でできる「せん妄」の初期対応についてのコンセンサス（共通認識）を作り上げることを目標としています。見学のみでも構いませんので、お気軽にご参加いただければ幸いです。

合同企画3

10:50～11:50

サイコネフロロジーと腎臓リハビリテーション

座長：伊藤孝史（帝京大学ちば総合医療センター 第三内科学講座（腎臓内科））

水内恵子（兵庫大学 看護学部 看護学科）

演者：腎臓リハビリテーションにおけるサイコネフロロジーを考える

伊丹儀友（医療法人友秀会 伊丹腎クリニック）

腎臓リハビリテーションとサイコネフロロジーの融合

櫻田 勉（聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科）

腎臓リハビリテーションを支える心理的ケア

小貫亜希子（医療法人埼玉会 埼玉草加病院）

腎臓リハビリテーションの現場に「笑いヨガ」を取り入れてみませんか

—みんな顔笑れ！みんな顔晴れ！—

種田美和（医療法人社団大誠会）

共催：日本腎臓リハビリテーション学会

【企画のねらい】

腎臓リハビリテーションは「運動療法」として確立したものの、継続率・実装率が低いことが日本透析医学会の統計調査でも示されている（透析中の運動療法の実施率4%）。その理由は抑うつ・不安・無力感などの心理的阻害因子があるのではないかと考えられる。それぞれの学会がどのようにコラボレーションしていくべきかを議論してみたい。

一般演題 14 患者/家族支援 3

11:50～12:20

座長：藤田 譲（白鷺病院 医療福祉科）

渡邊 隆（前田記念腎研究所茂原クリニック 内科）

0-45 透析終末期における在宅志向を支える心理社会的支援

～患者・家族の不安整理から社会資源介入へ至った2症例

藤原久子（（医）衆和会 長崎腎病院）

0-46 あなたの笑顔が見たいから～あるといいね生活目標～

今西伸子（医療法人柏友会 柏友クリニック）

0-47 「最期まで働きたい」～今を生きるという選択～

渡邊美希（医療法人社団 みやぎ清耀会 緑の里クリニック）

大会企画

14:30～15:30

音楽と“やすらぎ”

座長：鈴木一裕（援腎会すずきクリニック）

青木栄子（医療法人社団駿心会 いなげ腎クリニック）

演者：音楽、瞑想、現在に存在する～現在を丁寧に生きることのでられる本当の豊かさ～

古佐古基史（ハーブ奏者、作曲家、即興演奏家、看護師、保健師、メディテーション講師）

第3会場 (つつじ)

一般演題 15 終末期・治療差し控え

9:10～9:40

座長：三上聡司（社会医療法人三上会 東香里病院）
鳥居芳行（医療法人光寿会 看護部）

O-48 ECUM を中心とした緩和透析と PD ラストの比較

浅田博章（医療法人博鵬会 むつみ内科）

O-49 胆管癌終末期に合併した腎不全に対し血液透析を試行的に導入し、見合わせ支援を行った 1 例

信岡智彦（信州大学医学部附属病院 腎臓内科）

O-50 透析患者の終末期におけるビリーブメントカンファレンスの意義～遺族を交えた症例報告～

内田恵梨（医療法人社団 誠仁会 みはま病院 看護部）

一般演題 16 最新課題、他 2

9:40～10:20

座長：前田国見（医療法人社団前田記念会 石神井公園じんクリニック）
岡田理江（大田姫野クリニック 透析室）

O-51 近々の透析医療の現場で思うこと第 30 報—「透析を止めた日」を読んで考える（その 1）—

宍戸 洋（医療法人社団みやぎ清耀会 緑の里クリニック）

O-52 近々の透析医療の現場で思うこと第 30 報—「透析を止めた日」を読んで考える（その 2）—

宍戸 洋（医療法人社団みやぎ清耀会 緑の里クリニック）

O-53 独居高齢透析患者に生じたカフ型カテーテル感染を契機にアクセス管理と支援体制の重要性を再考した一例

千葉祐貴（仙台市立病院 腎臓内科）

O-54 透析患者における高カルシウム血症性脳症 と心理的支援

山初あや（医療法人社団クレド さとうクリニック）

一般演題 17 患者/家族支援 4

10:20～11:00

座長：中村菜々子（中央大学文学部 心理学専攻）
菅沼信也（医療法人社団菅沼会 腎内科クリニック世田谷 人工透析内科・腎臓内科）

O-55 腎臓病教室が慢性腎臓病患者の不安に及ぼす影響—STAI による検討

大関光恵（福島県立医科大学附属病院 腎臓内科外来）

O-56 長期透析患者の語りに見るネガティブケイパビリティ～透析歴 40 年の症例から～

中島明子（(医) 大平会 大森クリニック）

O-57 配偶者死別を契機に抑うつ傾向を示した長期透析患者の心理的变化
—EAT 治療導入を契機とした看護介入—

杉渕 愛 (札幌ふしこ内科・透析クリニック)

O-58 維持透析患者の自立支援における支援の距離感に関する一考察
～生活保護受給中の患者への就労支援を通して～

阿部真実子 (医療法人社団清永会 矢吹病院 医療福祉科)

一般演題 18 腎移植/終末期・治療差し控え

11:00～11:40

座長：杉谷 篤 (同愛会・博愛病院 腎臓外科)

吉武 理 (昭和医科大学病院 腎移植センター)

O-59 生体腎移植ドナーにおける自己評価式抑うつ尺度の経時変化：
術後 1 か月での一過性悪化と 1 年後の回復

富澤 満 (奈良県立医科大学 泌尿器科学講座)

O-60 幼少期から精神発達遅滞がある腎不全患者に生体腎移植を行った 1 例

石井保夫 (虎の門病院・腎センター外科)

O-61 在宅看取りを強く希望している在宅血液透析 (HHD) 終末期患者の 3 症例

船越 哲 ((医) 衆和会 長崎腎病院)

O-62 死別後の悲嘆に寄り添う支援～遺族と医療スタッフのグリーフケアの実践～

森岡万里 (独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院)

一般演題 19 療法選択・意思決定支援 5

11:40～12:20

座長：金山由紀 (埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部)

大坪 茂 (東都三軒茶屋クリニック 血液浄化療法科)

O-63 家族が推定意思を言えない認知症透析患者の意思決定支援～ACP の視点から振り返る～

野田 薫 (葵セントラル病院)

O-64 透析患者の終活支援による ACP 介入のタイミング
～医療者側ストレスチェック表による心理的变化～

池田百花 (ひらまつクリニック透析センター)

O-65 ACP (Advance Care Planning) の取り組みの中でクリニックが担う役割とは

伊澤美幸 (医療法人社団清永会 本町矢吹クリニック)

O-66 継続した ACP (ACP : Advance Care Planning) 実践への課題

林美智子 (医療法人社団明生会 東葉クリニック八日市場/医療法人社団明生会 三橋明生病院)